

第7回診療体制検討部会 会議用資料

2025年1月24日

FOR DISCUSSION ONLY

1.第3回湖北圏域病院運営検討協議会 を踏まえた対応状況

第3回湖北圏域病院運営検討協議会の指摘事項への対応と公開資料案の確認

医療機能に関する検討 (病院ビジョンへの反映方針)

機能再編後の各病院で想定される機能・役割の概観

機能再編後の各病院で想定される機能・役割の概観

病院ビジョン策定時に以下の記載内容を反映します。具体的な記載内容につきましては、病院ビジョン本体を検討する際に改めてご確認ください。

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）と機能・役割の概観（たたき台）（1/3）

	A病院 高度急性期・急性期機能を担う 医療機関	B病院 地域急性期～在宅医療（医療 機能は主に高機能な回復期や 慢性期）を担う医療機関	C病院 地域急性期※～在宅医療まで のケアミックスを担う 医療機関	D病院 地域包括ケアに貢献し、高齢者 の慢性期医療を担う 医療機関
内科	高度急性期・一般急性期 （ただし、「高度急性期を担う程度」と「一般急性期を担う程度」については、診療科によって異なると想定）	地域急性期・回復期・慢性期	地域急性期・回復期・慢性期	慢性期
消化器内科				－
呼吸器内科				－
循環器内科				－
神経内科				－
糖尿病内分泌内科				－
腎臓代謝内科				－
血液内科				－
小児科				－
リウマチ・膠原病内科				－

※地域急性期：一般救急や一部の特殊な急性期を担いながら、比較的症状が軽い患者を含めて急性期医療を中心に提供する機能

空欄：専門の医師を配置する等により診療科を設定するまではなくても、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの
－：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

機能再編後の各病院で想定される機能・役割の概観

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）と機能・役割の概観（たたき台）（2/3）

	A病院 高度急性期・急性期機能を担う 医療機関	B病院 地域急性期～在宅医療（医療 機能は主に高機能な回復期や 慢性期）を担う医療機関	C病院 地域急性期～在宅医療までの ケアミックスを担う 医療機関	D病院 地域包括ケアに貢献し、高齢者 の慢性期医療を担う 医療機関
外科	高度急性期・一般急性期 （ただし、「高度急性期を担う程度」と「一般急性期を担う程度」については、診療科によって異なると想定）	地域急性期・回復期・慢性期	地域急性期・回復期・慢性期	－
呼吸器外科				－
心臓血管外科				－
脳神経外科				－
整形外科				－
形成外科				－
泌尿器科				－
皮膚科				－
産婦人科				－
耳鼻咽喉科				－
眼科				－
麻酔科				－

空欄：「専門の医師を配置する等により診療科を設定するまではなくても、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの
－：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

機能再編後の各病院で想定される機能・役割の概観

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）と機能・役割の概観（たたき台）（3/3）

	A病院 高度急性期・急性期機能を担う 医療機関	B病院 地域急性期～在宅医療（医療 機能は主に高機能な回復期や 慢性期）を担う医療機関	C病院 地域急性期～在宅医療までの ケアミックスを担う 医療機関	D病院 地域包括ケアに貢献し、高齢者 の慢性期医療を担う 医療機関
総合診療科	■ 入院患者に係るコンサルテーション	■ 在宅医療等への対応	■ 在宅医療等への対応	－
放射線科	■ 放射線治療、画像診断等	■ 画像診断等	■ 画像診断等	－
病理診断科	■ 術中含む病理組織診断、細胞診断			－
リハビリテーション科	■ 急性期におけるリハ介入	■ 高機能なりハ ■ 回復期・慢性期	■ 回復期・慢性期	－
歯科・口腔外科	■ 手術対応（周術期含む） ■ 化学療法時の口腔管理	■ 高齢者の口腔管理 ■ 嚥下障害	■ 高齢者の口腔管理 ■ 嚥下障害	－
救急科	■ 救急搬送対応 ■ 災害時対応			－
精神科	■ 身体合併症対応 ■ 児童思春期対応 ■ 精神保健福祉法における入院対応			■ 精神保健福祉法における入院対応 ■ 緊急入院対応（A病院と役割分担） ■ 認知症 ■ 精神科訪問看護
緩和ケア科	■ 急性期	■ 回復期・慢性期	■ 回復期・慢性期	－

空欄：「専門の医師を配置する等により診療科を設定するまではなくても、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの

－：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

機能再編後の各病院で想定される診療科の 主な疾患・手技の概観

機能再編後の各病院で想定される機能・役割のイメージ

病院ビジョン策定時に以下の記載内容を反映します。具体的な記載内容につきましては、病院ビジョン本体を検討する際に改めてご確認ください。

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）の主な疾患・手技の概観（たたき台）（1/3）

	A病院	B病院	C病院	D病院
内科	(全般)	(全般)	(全般)	(全般)
消化器内科*	■ 内視鏡検査・治療 ■ がん化学療法含む薬物療法	■ 入院患者のコンサルテーション	■ 内視鏡検査・治療 ■ がん化学療法含む薬物療法	—
呼吸器内科*	■ 重症呼吸不全の管理 ■ 気管支鏡などの検査 ■ がん化学療法含む薬物療法	■ 誤嚥性肺炎など慢性疾患 ■ リハビリテーション	■ 誤嚥性肺炎など慢性疾患	—
循環器内科*	■ カテーテル検査・治療 ■ 循環補助装置の管理 ■ 血栓溶解療法含む薬物療法	■ 心不全など慢性疾患 ■ リハビリテーション	■ 心不全など慢性疾患	—
神経内科*	■ 脳血管障害など急性疾患	■ 神経変性疾患 ■ 筋疾患、神経免疫疾患 ■ 認知症	■ 認知症	—
糖尿病内分泌内科*	■ 周術期管理など	■ 血糖コントロール ■ 教育入院 ■ 甲状腺など内分泌疾患	■ 血糖コントロール ■ 教育入院	—
腎臓代謝内科*	■ 透析導入 ■ アフレシス療法など	■ 維持透析 ■ 慢性腎臓病(CKD)など慢性疾患		—
血液内科*	■ 白血病など腫瘍性疾患 ■ 貧血など非腫瘍性疾患			—
小児科*	■ 未熟児・新生児疾患 ■ 免疫・アレルギー性疾患 ■ 代謝・内分泌疾患		■ 感染性疾患など ■ 予防接種	—
リウマチ・膠原病内科*	■ 関節リウマチなど			—

【留意事項】各病院での経営改善の取り組み状況等によっては一時的に診療科機能を縮小する等の可能性はあるが、その際は、他病院と連携・補完するなど、地域で対応する想定とする

空欄：「特徴的な手技を明示するまでもなくとも、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの

—：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

*：当該診療科を置かない場合は、内科が診療を行う想定

機能再編後の各病院で想定される機能・役割のイメージ

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）の主な疾患・手技の概観（たたき台）（2/3）

	A病院	B病院	C病院	D病院
外科	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 支援ロボット含む手術	(全般)	(全般)	—
呼吸器外科*	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 胸腔鏡下含む手術	■ リハビリテーション		—
心臓血管外科*	■ 心臓・大動脈などの手術	■ リハビリテーション		—
脳神経外科*	■ 脳腫瘍・脳血管障害の手術 ■ 脳血管撮影などの検査	■ リハビリテーション		—
整形外科*	■ 人工関節 ■ 内視鏡下含む手術	■ リハビリテーション	■ 骨折	—
形成外科*	■ 先天的・後天的な形の異常 ■ 手術後の組織欠損の再建	■ リハビリテーション		—
泌尿器科*	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 支援ロボット含む手術	■ 尿路感染症など	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 低侵襲治療（内視鏡手術など） ■ アフェシス療法 ■ 透析導入、維持透析	—
皮膚科*	■ アレルギー性疾患 ■ 感染性疾患 ■ 腫瘍性疾患	■ 褥瘡管理など	■ アレルギー性疾患 ■ 感染性疾患 ■ 腫瘍性疾患	—
産婦人科*	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 支援ロボット含む手術 ■ 合併症を伴う分娩		■ 婦人科領域への対応	—
耳鼻咽喉科*	■ がん化学療法含む薬物療法 ■ 内視鏡下含む手術	■ リハビリテーション ■ 嚥下障害など	■ 一般的な耳鼻咽喉科領域への対応	—
眼科*	■ 白内障などの手術 ■ 外傷	■ 糖尿病網膜症など		—
麻酔科*	■ 周術期管理 ■ 疼痛管理		■ 周術期管理	—

【留意事項】各病院での経営改善の取り組み状況等によっては一時的に診療科機能を縮小する等の可能性はあるが、その際は、他病院と連携・補完するなど、地域で対応する想定とする

空欄：「特徴的な手技を明示するまではなくても、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの

—：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

*：当該診療科を置かない場合は、外科が診療を行う想定

機能再編後の各病院で想定される機能・役割のイメージ

機能再編後に想定される診療科（入院・外来）の主な疾患・手技の概観（たたき台）（3/3）

	A病院	B病院	C病院	D病院
総合診療科	■ 入院患者に係るコンサルテーション	■ 在宅医療等への対応	■ 在宅医療等への対応	－
放射線科	■ 放射線治療 ■ 画像診断	■ 画像診断	■ 画像診断	
病理診断科	■ 手術中含む病理組織診断 ■ 細胞診断			
リハビリテーション科	■ 急性期におけるリハ介入 ■ 障害の予防・軽減	■ 高機能なりハ ■ 失われた機能の回復 ■ 残された能力の最大化	■ 失われた機能の回復 ■ 残された能力の最大化	
歯科・口腔外科	■ 埋伏智歯抜歯などの手術対応（周術期含む） ■ 外傷 ■ がん化学療法時の口腔管理	■ 高齢者の口腔管理 ■ 嚥下障害	■ 高齢者の口腔管理 ■ 嚥下障害 ■ ハイリスクな抜歯	
救急科	■ 救急搬送時の対応 ■ 災害対応	■ 救急搬送時の対応	■ 救急搬送時の対応	
精神科	■ 身体合併症 ■ 自動思春期対応 ■ 精神保健福祉法における入院対応		■ 認知症	■ 緊急入院対応（A病院と役割分担） ■ 精神保健福祉法における入院対応 ■ 認知症
緩和ケア科	■ 身体・精神の苦痛緩和	■ 身体・精神の苦痛緩和	■ 身体・精神の苦痛緩和	

【留意事項】各病院での経営改善の取り組み状況等によっては一時的に診療科機能を縮小する等の可能性はあるが、その際は、他病院と連携・補完するなど、地域で対応する想定とする

空欄：「特徴的な手技を明示するまではなくても、期待される機能・役割を果たせるのではないかと考えられるもの

－：当該領域の機能・役割は担わないと考えられるもの

機能再編後の各病院で想定される5疾病6事業等 との関わり

機能再編後の各病院で想定される5疾病6事業等との関わり方イメージ

病院ビジョン策定時に以下の記載内容を反映します。具体的な記載内容につきましては、病院ビジョン本体を検討する際に改めてご確認ください。

機能再編後に想定される5疾病6事業等との関わり方の概観（たたき台）

あくまで再編後の4病院の5疾病6事業等に関する役割分担をイメージするための記載であり、再編後の役割を網羅的に記載しているものではない

	A病院	B病院	C病院	D病院
がん	■ 地域がん診療連携拠点病院 ■ がんリハビリテーション ■ がんゲノム医療連携病院	■ 緩和ケア病棟 ■ がんリハビリテーション	■ ADLを意識した低侵襲治療（内視鏡手術、化学療法など） ■ 緩和ケア	
脳卒中	■ 一次脳卒中センターコア	■ 回復期リハビリテーション病棟	（外来対応）	
心疾患	■ 急性心筋梗塞等の急性期治療	■ 回復期リハビリテーション病棟	（外来対応）	
糖尿病	■ 急性合併症 ■ 急性期透析、透析導入	■ 慢性合併症 ■ 維持透析 ■ 教育入院	■ 急性期透析、透析導入 ■ 維持透析 ■ 教育入院	
精神疾患	■ 精神科救急 ■ 身体合併症 ■ 災害拠点精神科病院	（外来対応）	（外来対応）	■ 精神科救急 ■ 慢性期治療
救急医療	■ 救命救急センター	■ 救急告示病院	■ 救急告示病院	
災害医療	■ 地域災害拠点病院 （滋賀県原子力災害拠点病院）	（滋賀県原子力災害拠点病院）	■ 原子力災害医療協力医療機関	
小児医療	■ 小児救急医療の拠点	（外来対応）	（外来対応）	
周産期医療	■ 地域周産期母子医療センター			
へき地医療			■ へき地医療拠点病院	
新興感染症	■ 第二種感染症指定医療機関 ■ 流行初期に病床確保 ■ 重症者用病床	■ 流行初期以降に病床確保 ■ 後方支援	■ 流行初期以降に病床確保 ■ 後方支援	■ 流行初期以降に病床確保 ■ 後方支援
在宅医療*	■ 地域医療支援病院 ■ 在宅療養後方支援病院	■ 在宅療養支援病院 ■ 訪問看護 ■ レスパイト入院	■ 在宅療養支援病院 ■ 地域包括医療・ケア認定施設 ■ 訪問看護 ■ レスパイト入院	■ 認知症疾患医療センター ■ 訪問看護
介護		■ 訪問看護	■ 訪問看護 ■ 介護老人保健施設湖北やすらぎの里	■ 訪問看護
その他	■ ヘルスケア研究センター ■ ながはま0次予防コホート	■ 健診センター	■ 湖北健康管理センター	

施設基準・施設認定

再編後の医療機能実現に向けて必要となる施設基準・施設認定

病院ビジョン策定時に以下の記載内容を反映します。具体的な記載内容につきましては、病院ビジョン本体を検討する際に改めてご確認ください。想定です。

各病院が果たすべき機能につながる主な施設基準・施設認定（案）

■：現状にて3病院のいずれかで取得済
◆：現状にて3病院のいずれも未取得

項目	A病院	B病院	C病院
各病院が担う役割を果たすために欠かせない主な施設基準	◆ DPC特定病院群 ■ 精神病棟入院基本料(13対1) ◆ 急性期充実体制加算 または ■ 総合入院体制加算	■ 回復期リハビリテーション病棟入院料 ■ 地域包括ケア病棟入院料 ■ 療養病棟入院料	■ 地域包括ケア入院医療管理料 ■ 療養病棟入院料
各病院が担う役割を果たすために欠かせない主な施設認定	■ 救命救急センター ■ 地域周産期母子医療センター ■ 第二種感染症指定医療機関 ■ 災害拠点病院 ■ 臓器提供施設指定病院 (滋賀県原子力災害拠点病院)	(滋賀県原子力災害拠点病院)	

検討の視点

- 病院ビジョンへの記載や施設設備の検討の観点から、再編後の医療機能を踏まえると、必ず必要となり、かつ、現状で取得できていない施設基準・施設認定のうち、主要なものを議論の対象とします。加えて、再編により新たに担う医療機能に必要な施設基準（類上げ等を含む）や施設認定のうち、主要なものも議論の対象とします。
- 現在、各病院で取得している施設基準（例：急性期一般入院料、救急告示病院等）については、原則として維持する想定とします。
 - これらは診療体制検討部会での議論対象とはしません。
- 診療体制検討部会での検討対象としなかった施設基準・施設認定については、別途、再編実行段階において実務レベルで整理を進めます。

2. 施設設備の整備に係る追加案の検討

第6回診療体制検討部会における「施設設備の整備」 の振り返り

投資額抑制に向けた追加案検討の考え方

追加案検討の視点としては、「めざす姿」や長浜市の財政状況を念頭に、投資額の抑制に向けた「当面の措置」について検討を進めています。「当面の措置」の対応は、「両院の既存施設を有効活用すること」に加えて、「高度急性期機能を一部集約するとともに、運用面で各病院が協調・工夫することで、可能な限り集約効果を最大化すること」といった方針に基づいて検討を継続することとなりました。

第5回までの検討内容

- 大戌亥町に高度急性期機能を集約することを旨として施設改修等を行う

投資額の抑制に向けた代替案

当面の措置（「めざす姿」への準備期間）

- 既存施設を有効活用し、高度急性期機能の一部集約を行う
 - 大学医局が納得可能な機能集約範囲とすることを前提に、両院施設のどちらを活用する方が投資額が抑制されるかという視点で検討する

【視点の例】

- ✓ 財政的制約を踏まえ、高度急性期機能を完全に集約することはせず、一部運用で対応する等により、施設設備の整備等の投資抑制をめざす
 - 診療科は夜間救急対応のみを■■■病院へ集約（当直医を集約）する など

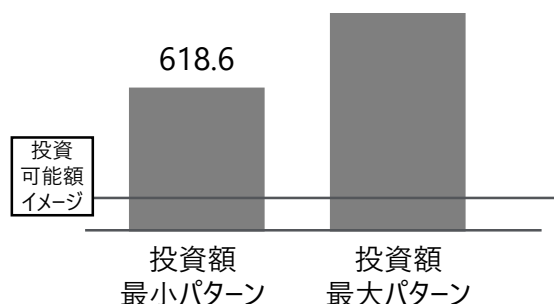
「めざす姿」の実現

- 高度急性期機能を集約した新病院を大戌亥町に建設する
 - 長浜市病院再編方針に基づき、診療体制検討部会で検討していた機能分担・役割分担を実現する

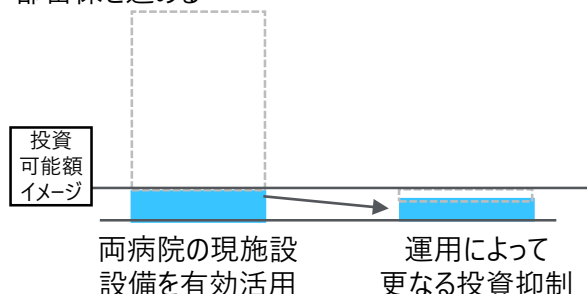
考え方

投資方針・投資額イメージ

概算投資額
(億円)



- 投資を抑え、現施設設備で可能な範囲での高度急性期機能の集約をめざす
- 運用面で各病院が協調・工夫することで、「機能集約効果の最大化」や「投資抑制効果の実現」を目指す
- 将来の「めざす姿」の実現に向けて経営の見直し及び内部留保を進める



- 大戌亥町に新病院を建設し、高度急性期機能集約を完了
- 内部留保や各種補助金等を活用した新病院建設を行う



FOR DISCUSSION ONLY

3. 病院ビジョン（案）の検討

病院ビジョンの作成方針

第2回湖北圏域病院運営検討協議会での協議結果を踏まえて策定された「病院ビジョン骨子」を踏まえて、現時点の議論で記載可能な部分から整理の上、検討を進めています。ただし、長浜市立2病院の経営状況に係る市の検討状況や市財政制約も十分に考慮して、検討を進める必要があります。

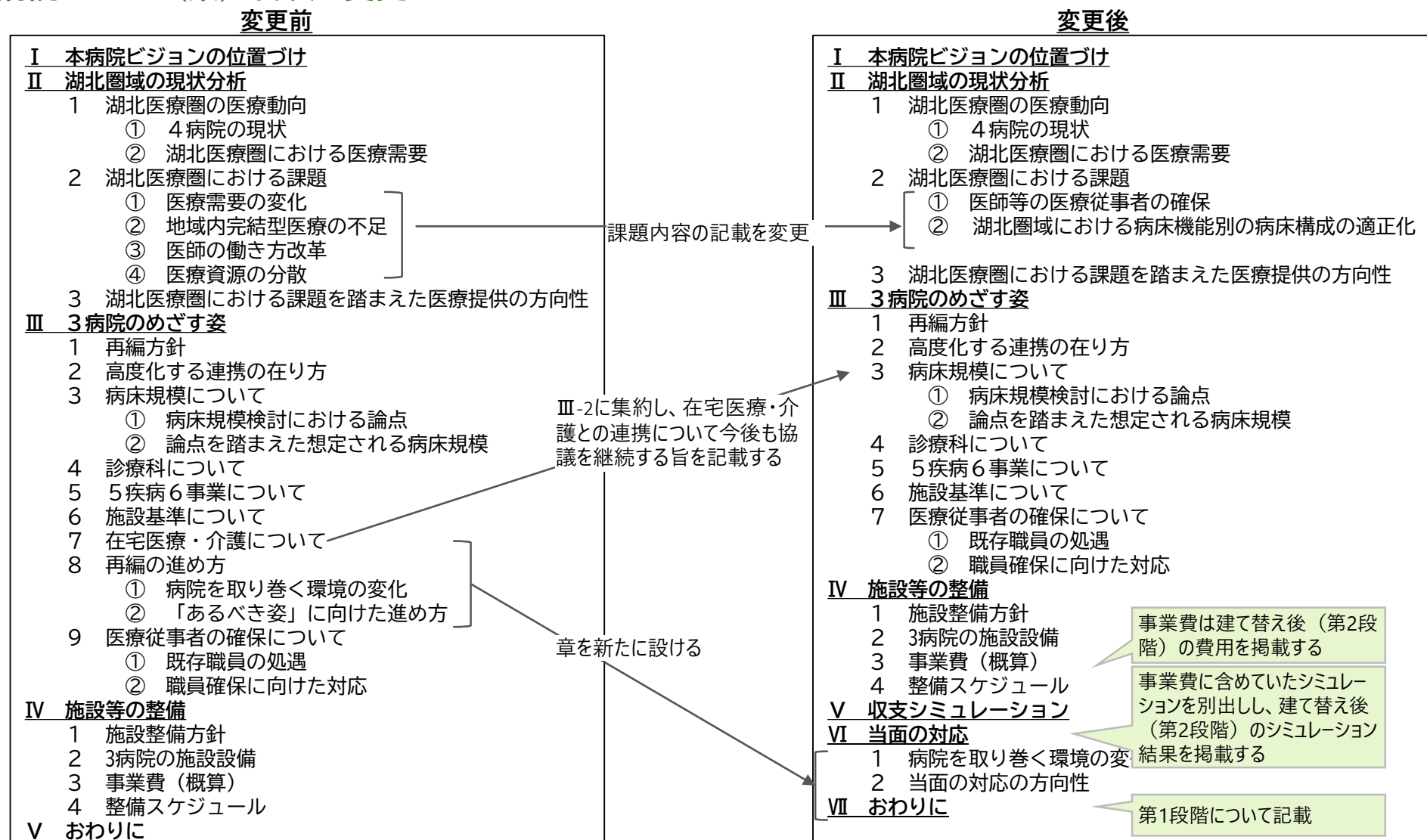
「病院ビジョン骨子」

大項目	小項目	記載の方向性
本病院ビジョンの位置づけ		■ 現状の湖北圏域4病院の役割や医療機能を踏まえて、湖北圏域の医療をさらに充実させるため、長浜市立2病院及び長浜赤十字病院が再編後のABC病院として果たすべき役割を示す基本構想である点を記載する。
湖北圏域の現状分析	湖北圏域の医療動向	■ 湖北圏域における将来人口推計や入院・外来需要予測、救急搬送実績等を記載する。
	3病院の現状	■ 病院概要、診療実績、施設設備の状況、経営状況等を記載する。
3病院のめざす姿	医療機能	■ 滋賀県保健医療計画及び地域医療構想の内容や病院再編に関する全国的な動向も踏まえて、再編の必要性や市民にとってのメリットを記載する。 ■ 湖北圏域の地域包括ケアシステムの中での3病院の位置づけ等を踏まえ、再編後3病院がめざす医療機能を記載する。 ■ 3病院の医療機能の検討にあっても、保健医療計画及び地域医療構想との整合性をとりながら検討を進める。
	高度化する連携のあり方	■ 機能再編や病院経営の一体化を通じた3病院の急性期から回復期・慢性期までの切れ目のない連携や連携高度化による医療への影響（急性期患者に対する早期のリハビリ実施による在院日数の短縮化等）、及び、患者への影響（早期の社会復帰等）について記載する。また、3病院間のみならず、診療所や介護事業者との連携方針についても記載する。
	病床数	■ 再編後の3病院の医療機能、及び、需要予測をもとに想定される病床数を記載する。
	診療科	■ 再編後の3病院の医療機能をもとに想定される診療科を記載する。
	5疾病6事業	■ 地域包括ケアシステムの視点も踏まえて、5疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）6事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療・新興感染症）への3病院のかかわり方を記載する。
	在宅医療・介護	■ 湖北圏域の地域包括ケアシステムの中での3病院の位置づけ等を踏まえ、再編後の3病院の在宅医療及び介護へのかかわり方を今後協議していく旨を記載する。
	医療従事者の確保	■ 人員体制の整備方針を記載する。また、医療従事者確保に向け、医療機能や医療人材教育の視点も含めて、医療従事者を惹きつけるマグネット病院群となるための施策（人材交流・3病院それぞれの医療機能を活かした研修拠点化など）等を記載する。
	再編スケジュール	■ 病院ビジョン策定段階で想定される再編スケジュールを記載する。
施設等の整備	整備方針	■ 政策医療や救急医療を堅持し、地域医療の向上に向けた施設等の整備に関する基本的な方針や、想定される整備手法を記載する。
	3病院の施設設備	■ 救急機能や災害対応機能等、再編後の3病院のめざす姿をもとに、必要となる施設設備等を記載する。
	事業費（概算）	■ 3病院に必要な施設設備等をもとに、直近の建設単価等を加味して算定した事業費の概算を記載する。
	整備スケジュール	■ 3病院の施設設備の新設、改修内容等を考慮して、病院ビジョン策定段階で想定される整備スケジュールを記載する。
収支シミュレーション		■ 「現状推移パターン」と「3病院の再編パターン（再編完了後から10年程度）」の収支シミュレーション結果を記載する。

病院ビジョン（案）の章立てについて

「病院ビジョン骨子」を踏まえて作成を進めますが、今後の診療体制検討部会の議論内容に合わせ、必要に応じて、章立て等を検討していきます。

病院ビジョン（案）目次の変更



病院ビジョン（案）イメージ

病院ビジョン（案）_湖北医療圏の現状分析イメージ

目次

I. 本病院ビジョンの位置づけ	3
II. 湖北医療圏の現状分析	
1. 湖北医療圏の医療動向	
① 4病院の現状	
② 湖北医療圏における医療需要	
2. 湖北医療圏における課題	
① 医師等の医療従事者の確保	
② 湖北医療圏における病床機能別の病床構成	
3. 湖北医療圏における課題を踏まえた医療提供の	
III. 3病院のめざす姿	
1. 再編方針	
2. 高度化する連携の在り方	
3. 病床規模について	
① 病床規模検討における論点	
② 論点を踏まえた想定される病床規模	
4. 診療科について	
5. 疾病6事業について	
6. 施設基準について	
7. 医療従事者の確保について	
① 既存職員の処遇	
② 職員確保に向けた対応	
IV. 施設等の整備	
1. 施設整備方針	
2. 3病院の施設設備	
3. 事業費（概算）	
4. 整備スケジュール	
V. シミュレーション	
VI. 当面の対応	
1. 病院を取り巻く環境の変化	
2. 当面の対応の方向性	
VII. おわりに	

I. 本病院ビジョンの位置づけ

湖北医療圏では、長浜市立病院、市立湖北病院、長浜赤十字病院及びセフィロト病院の4病院それぞれが持つ機能を活かしながら充実した医療を提供しています。少子高齢化や医療需要の多様化に対応しつつ、持続可能で質の高い医療構築する必要があります。また、2024年に施行された「医師の働き方改善法」は正や効率的な医療資源の活用が求められており、「将来にわたって、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保」が基づく病院再編が急務となっています。

湖北医療圏の医療提供のめざす姿：

将来にわたって、湖北医療圏において、良質かつ適切な医療を効率的に確保する。

湖北医療圏の再編については、湖北医療圏地域医療構想調整会議において中心を担う4病院長、湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、組合関係者、長浜市、米原市等が協議され、セフィロト病院を除く3病院の経営するという関係者の共通認識のもと、「高度急性期・急性期の患者」と「回復期・慢性期（・急性期）の患者を診る病院（B病院、C病院）再編し、セフィロト病院を含む湖北医療圏における病院機能の再編案が今後、最終的な湖北医療圏における再編の医療提供の状態として大規模を集約した「高度急性期・急性期の患者を診る病院（A病院）」を創設することを想定しています。一方で、建築費高騰、物価高騰や市立病院の湖北医療圏を取り巻く環境の変化を踏まえると早期の新病院の整備は困難な再編を段階に分けて進めていくこととしました。

従って、本病院ビジョンの位置づけとしては、2段階に分けて進めそれぞれの段階における「めざす姿」の実現の方向性を示したものと

湖北医療圏の再編は段階的に進める：

- 第1段階：既存施設を最大限活用した上で「めざす姿」を実現す
- 第2段階：大規模な高度急性期機能を集約した新病院を整備し実現する期間（「めざす姿」の最終形）

II. 湖北医療圏の現状分析

1. 湖北医療圏の医療動向

① 3病院の現状

- 湖北医療圏における医療機関の状況

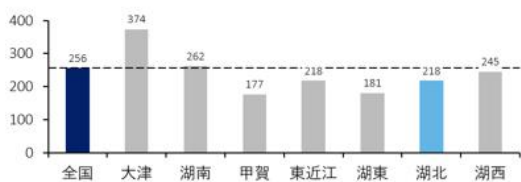
湖北医療圏には、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院およびセフィロト病院が所在しており、これまで、それぞれが持つ機能を活かしながら充実した医療を提供しています。

凡例：● 一般病床に占める高度・急性期病床数の割合が7割以上
● 一般病床に占める高度・急性期病床数の割合が7割未満
● 回復期・慢性期または回復期・慢性期・休養中等のみ
○ 機能別病床数が不明



● 湖北医療圏の医療従事者

湖北医療圏では、全国平均と比べて医師偏在指数が低く、医師不足の課題を抱えている状況です。



このような状況の中、湖北医療圏の人口は今後、特に15～64歳までの医療従事者を含む生産年齢人口が減少することが見込まれ、一層の医師不足が進む可能性があります。

図 人口推移

